

議案提出について

議案「教育予算の拡充を求める意見書」を次のとおり会議規則第13条の規定により提出します。

平成22年6月22日

金沢市議会議長 高村 佳伸 様

提出者

金沢市議会議員	清水 邦彦
〃	松井 純一
〃	森 一敏
〃	森尾 嘉昭

議会議案第16号

教育予算の拡充を求める意見書

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤づくりにとって極めて重要なことから、「教育は未来への先行投資」であることは、多くの国民の共通認識となっている。

今の子どもたちは、以前に比べさまざまな価値観や個性・ニーズを持っており、一人一人の子どもに丁寧な対応を行う必要がある。そのためには、学級規模の引き下げが必要であり、多くの保護者も少人数学級を望んでいる。

全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、自治体財政が逼迫している中で、OECD諸国並みの教育環境を整備するためには、国の財政負担と責任で少人数学級にすることが必要である。

よって、国におかれては、下記の事項について実現されるよう強く要望する。

記

- 1 OECD諸国並みである30人以下の少人数学級を推進すること。
- 2 子どもと向き合える時間の確保ができるよう、学校教育環境整備計画の早期策定を行うこと。とりわけ、教職員の増員と人材確保のための条件整備に早急に取り組むこと。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の拡充を図ること。

ここに、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。